

第6期 第1回 苫小牧市中小企業振興審議会要旨

- 1 日 時 令和5年7月19日（水） 13:30～14:15
- 2 場 所 苫小牧市役所5階 第2応接室
- 3 出 席
 - (1) 苫小牧市中小企業振興審議会委員
五十嵐委員、遠藤委員、奥村委員、加藤委員、木村委員、黒井委員、小玉委員、
定蛇委員、玉川委員、長澤委員、中島委員、藤本委員、若狭委員
※佐藤委員、高橋委員は欠席
 - (2) 事務局（市）
市長
産業経済部 : 小名部長
産業振興室 : 白川室長、企業政策室 : 木澤室長
商業振興課 : 由利副主幹、高橋主査、山岸主査、笹村主事
工業・雇用振興課 : 倉持課長、吉田主査

4 概 要

〈倉持工業・雇用振興課長による進行〉

(1) 開会

苫小牧市中小企業振興審議会開会（委員15名中13名出席、苫小牧市中小企業審議会規則第4条第2項の規程による審議会開催の定足数を満たしている）

(2) 委嘱状交付

岩倉市長より、出席している13名の委員に対して委嘱状の交付

(3) 市長挨拶

中小企業振興審議会も10年を経過し、今回で第6期ということになります。特にこの3年、コロナ禍で中小企業を取り巻く状況の変化、あるいは、今までとは違う先行き不透明感が漂っているわけでございます。

地元の事業所は、大半が中小企業、あるいは小規模企業でございまして、そうした産業都市として中小企業や小規模企業にどう元気を持ってもらうのか、それが苫小牧の生き残りを賭けた一つの大変重要な取組となるというふうに考えております。

そのような意味で、審議会で市が考えている政策、あるいは施策等に対して忌憚のないご意見をたくさんいただければなというふうに思います。そうしたご意見により、我々の施策の微調整をさせていただいたり、抜本的に改革をする局面もあろうかと思っておりますけれども、審議会、それぞれのお立場で、苫小牧の今、そして苫小牧のこれからというものを考えた中での貴重なご意見をしっかりと聞いた上で、ロスのない施策展開に努めてまいりたいというふうに考えておりますので、大変ご苦労をお掛けいたしますけれども、第6期、お世話になります、お願いを申し上げます、冒頭首長としてのご挨拶に代えさせていただきます。

〈市長は他の公務があるため退席〉

(4) 委員自己紹介

出席した13名の委員が順に自己紹介。

(5) 会長・副会長選出

苫小牧市中小企業振興審議会規則第3条に基づき会長、副会長を委員により互選。事務局一任との声あり。

事務局案として、第二次苫小牧市中小企業振興計画を策定した第5期との関連性から、引き続き会長に高橋委員、副会長に遠藤委員を提案。各委員了承。

【副会長挨拶（会長欠席により）】

2020年のコロナが始まりまして、思うような中小企業の振興とはというところまでは行かずに、中小企業の生き残りをかけたようなことについてお話を、協議することが多かったのかなと思っております。今では、今後中小企業についていろいろ振興について話ができるのかなと思います。様々な人材の方々がいらっしゃいますので、忌憚のない意見、よろしく願いいたしたいと思います。

(6) 事務局自己紹介

事務局9名が順に自己紹介。

〈遠藤副会長に進行を交代〉

(7) 議事

①苫小牧市中小企業振興条例及び審議会規則等について

事務局より、「苫小牧市非常勤特別職員の服務及び解職の基準に関する要綱」に基づく服務規程や解職について説明。苫小牧市中小企業振興条例について、施行の背景や条例の趣旨を説明。中小企業進行審議会規則について審議会成立の要件等を説明。

②第二次苫小牧市中小企業振興計画について（抜粋）

事務局より、第二次苫小牧市中小企業振興計画は、第一次計画が令和4年度をもって終了することから、令和5年度からの5年間の主要施策や方向性をまとめた計画内容とするもので、今後の振興策で重要となる三つの柱として、「創業及び事業承継の推進」、「人材確保及び人材育成の強化」、「事業継続のための経営基盤の強化・販路拡大の推進」と定めている。

これまでの審議会の議論より、ICTの必要性や異業種間のコミュニティ形成、意見交換ができる場の必要性が意見されてきた経緯から、第二次計画では、デジタル化への対応や、ウィズコロナ・アフターコロナに対する考え方も随所に取り入れた形としている。

また、計画別冊には、市が実施する各種支援策を一覧形式で掲載しており、令和5年度版については、次回8月の審議会にて提出する予定であることを説明。

③第5期苫小牧市中小企業振興審議会からの引継内容について

事務局より、第5期審議会から第6期審議会への引継内容について説明。引継ぎ事項としては、審議会や意見交換会で出た意見等については、行政が得意な分

野、または市民や民間事業者が得意な分野という視点で、どのようにすれば中小・小規模事業者のニーズに応じていけるのか、事業化につながる仕組みづくりができるのかを検証、提案していける議論を進めていただきたいこと。

また、審議会の役割として、計画別冊で提示する事業の実績などから、不足点、改善点について検証を行うなど、第二次計画の進捗確認を行うこと、さらに、意見交換会の役割として、審議会での議論をさらに深め、事業の実施に向けたプロセスを検討していくことが必要であることを説明。

(8) その他

- ・ 審議会後の意見交換会は、本日は実施せず次回以降から開催する旨案内。
- ・ 次回の審議会は、8月25日（金）13時30分から職員会館304にて開催予定であることを案内。

(9) 閉会